

令和元年12月吉日

学会員 各位

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

**前向きコホート研究に関する実態把握における
Web調査回答のお願い**

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（以下 AMED）では、医療分野における基礎から実用化までの研究開発が切れ目なく行われ、その成果が円滑に実用化されるよう、大学や研究機関などが行う研究を支援し、研究開発やそのための環境の整備に取り組んでいます。

また、産学官連携により、我が国の力を結集し、医療現場ニーズに的確に対応する研究開発の実施や創薬等の実用化の加速化等が抜本的に革新される基盤（人材を含む）の形成、医療研究開発分野でのオープンイノベーション・ベンチャー育成が強力に促進される環境の創出を推進しております。

現在、病因や病態が十分に解明されていない、加齢や生活習慣、環境要因等の複合リスクを背景に発症する疾患の病態解明及び医薬品等の開発・実用化研究が国内外で行われておりますが、それらの課題の推進にあたっては、既存の基盤情報や、コホート等の活用が重要となります。その一方で、本邦におけるコホート研究に関する現状把握が十分とは言えない状況です。

このような状況から、本調査では、複合リスク関連疾患に関する研究の推進にあたり、広く利活用可能な情報の収集を目的として、本邦におけるコホート研究に関する実態調査を実施する運びとなりました。

本調査の対象とするコホートは以下の条件を満たすもの

日本国内に在住する者を対象とした前向き研究である。

ベースライン調査を完了して追跡を開始している。

研究対象者のリクルート時に、特定の疾患や病態を持った者を追跡したコホートや健診、検診等で既に蓄積された経時データを後ろ向きに遡及して解析した研究等は除く。

つきましては、年末の業務多忙の折、大変恐縮でございますが、下記URLにアクセス頂き、令和2年1月8日（水）までに調査項目にご回答いただきますようお願い申し上げます。

★URL（12月16日以降にオープン）

<https://amed-cohort.com/>

なお、今後、ご回答頂いた調査内容の個別及び集計結果等の公開を予定しておりますが、本調査の重要性にご理解を賜り、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。尚、本調査はAMEDの委託を受け、EY新日本有限責任監査法人が実施して参りますことをご承知おきください。

敬具

【複合リスク関連疾患に関する課題推進に資する国内外参考情報の調査 委託元】



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-1
読売新聞ビル22階

令和元年12月吉日

学会員 各位

EY 新日本有限責任監査法人
ICI 株式会社

前向きコホート研究に関する実態把握における
Web調査回答のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、EY新日本有限責任監査法人及びICI株式会社では、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（以下AMED）から「複合リスク関連疾患に関する課題推進に資する国内外参考情報の調査」の委託事業を受託し、複合リスク関連疾患に関する研究の推進にあたり、広く利活用可能な情報の収集を目的に、前向きコホート研究に関する実態調査を実施する運びとなりました。

つきましては、年末の業務多忙の折、大変恐縮でございますが、下記URLにアクセス頂き、令和2年1月8日（水）までに調査項目にご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、今後、調査内容につきまして、電話での問い合わせ及び詳細のヒアリング調査訪問のお願い等を差し上げるこ
とがあるかと存じますが、本事業の重要性にご理解を賜り、何卒ご協力くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具

★URL（12月16日以降にオープン）

<https://amed-cohort.com/>

【複合リスク関連疾患に関する課題推進に資する国内外参考情報の調査 受託先】

EY新日本有限責任監査法人

〒100-0011 東京都千代田区有楽町1-1-2
東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー

ICI株式会社

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-1-21
コロナ社第3ビル7階

調査要綱

1. 調査研究の趣旨

AMEDでは、現在、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE事業）を始めとして、病因や病態が十分に解明されていない、加齢や生活習慣、環境要因等の複合リスクを背景に発症する疾患の病態解明及び医薬品等の開発・実用化研究が行われておりますが、それらの課題の推進にあたっては、既存の基盤情報や、コホート等の活用が重要となります。

複合リスク関連疾患に関する研究の推進にあたり、国内の前向きコホート研究に関する実態等の広く利活用可能な情報の収集を本調査事業の目的としております。

本調査の対象とするコホートは以下の条件を満たすものです。

日本国内に在住する者を対象とした前向き研究である。

ベースライン調査を完了して追跡を開始している。

研究対象者のリクルート時に、特定の疾患や病態を持った者を追跡したコホートや健診、検診等で既に蓄積された経時データを後ろ向きに遡及して解析した研究等は除く。

2. 調査内容

- ・コホート研究への関わり
- ・コホート研究の概要
- ・コホート研究の対象者と追跡状況
- ・コホート研究のデータシェア
- ・コホート研究のデータ管理基盤とデータリンケージ体制
- ・今後の課題 等

※コホート研究への関わるお立場によって 5～最大 130 問程度の質問にご回答頂きます。

3. 回答方法

本調査は WEB 調査となります。パソコンから下記 URL にアクセスして回答をお願いいたします。

★URL（12月16日以降にオープン） <https://amed-cohort.com/>

★ご回答いただく際の注意点

- ・ 回答を途中で中断した後、再度ログインして途中から回答を続けることができます。
- ・ 回答中は、画面を戻って修正することができます。
- ・ 最後まで回答頂いた後、最終画面でご回答内容を確認・印刷出力頂けます。後日回答内容を確認させていただく可能性があるため、ご回答内容を保存頂くことをお勧めいたします。

4. 回答期日

令和元年12月16日（月）～令和2年1月8日（水）

5. 情報の取り扱いについて

本アンケートにより頂戴いたしました一切の情報は、本調査事業をAMEDより委託を受け実施しているEY新日本有限責任監査法人及びICI株式会社（以下、委託先）が厳重に管理を行います。回答いただいた内容は本事業を所管するAMEDと協議の上、回答内容・分析結果を公表させていただく予定としておりますので、予めご了承ください。

また、ご回答の内容等について、委託先から照会をさせていただく場合や、ヒアリング調査のお願いをさせて頂く場合がございます。そのため、調査項目の一部でご担当者氏名とご連絡先をお伺いしております。

6. 結果の公表

コホート研究を代表してご回答頂いた内容は、日本国内で実施されるコホート研究として報告書等にまとめて公表させていただきますので、予めご了承頂けますようお願い申し上げます。

具体的に公表を予定している調査項目は以下の内容です。

【コホート研究を代表してご回答頂く方向けの公表予定調査項目】

関わっているコホート研究の名称

コホート研究の英語名称、略称、情報公開 Web サイト情報

コホート研究の研究代表者の氏名、所属、役職

コホート研究の位置づけ（大きな研究プロジェクトの一部である場合のその研究プロジェクトとの関係性）

公開可能な連絡先（電話番号、メールアドレス、担当組織名）

コホート研究の目的、追跡対象疾患、

対象者の基準

登録・リクルート開始時期と追跡調査終了状況

7. 本件問い合わせ先

【お問い合わせ窓口】

回答方法やファイルの取り扱い、調査票の内容に関する質問は、下記の専用メールアドレスに、メールにてお問い合わせ下さい。

調査事務局 ICI株式会社

TEL : 090-7204-1409

Mail : amed-ey-cohort@ici-inc.co.jp

翌営業日中を目途にメールにてご回答差し上げます。ご不便をおかけして申し訳ございませんが、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

令和元年12月吉日

学会員 各位

日本衛生学会
理事長 大槻剛巳（川崎医科大学衛生学）

前向きコホート研究に関する実態把握における
Web調査回答のお願い

平素より大変お世話になっております。

この度、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）国内のコホート研究に関する実態の協力依頼が参りましたので、お知らせいたします。本調査は、病因や病態が十分に解明されていない、加齢や生活習慣、環境要因等の複合リスクを背景に発症する疾患の病態解明にあたり、本邦におけるコホート等の活用を積極的に進めて行くという方向性が期待されます。

人生 100 年時代を見据えた時に、ライフステージを俯瞰したこれからの疾患の発症・重症化予防、診断、治療につながる研究開発を行うにあたっては、縦断的なひとの生活情報を含むコホートの存在意義はこれまで以上に増すものと思われま

す。そのような観点で、本調査は、今後の社会医学系の研究の推進や学問の発展にあたり、非常に重要な基礎資料になるものと考えております。従いまして、大規模コホート研究（他地域にまたがるコホート）等の複数の学会員が関与されている場合は、事前に会員間で調整する等のくれぐれも回答漏れなきよう配慮をよろしくお願いいたします。学会員各員の積極的な御協力を賜りたく存じます。

どうぞ宜しくお願いいたします。

PS: ※URLは12月16日以降オープンし、回答可能となる予定です。

※ 今般の調査は、日本疫学会、日本公衆衛生学会、日本産業衛生学会、日本衛生学会、日本健康学会、日本体力医学会、日本農村医学会、日本医療情報学会の8つの学会様にご協力の依頼が届いていると思います。

複数の学会からご依頼を受けられる先生方もいらっしゃると思いますが、どの学会経由で依頼が来たかに関わりなく、是非、登録をお願い致します。同じコホート研究が、複数の研究者によって登録された場合には、AMED側で対応してくださることになっています。

来る2020年2月21日に第30回日本疫学会学術総会の中で、社会医学系4学会とAMEDとの共同シンポジウムも設けられ、実験系からコホート研究、データの統合などと、AMEDの研究体制との討論の基盤にもなってくるものと思

います。
是非、よろしくお願い致します。